

重要水道施設の耐震化

大規模地震において重要水道施設に求められる性能

大規模災害に対しても、以下のような機能を保持する事

- ・ 病院、透析施設 等への給水の継続
- ・ 生活用水の確保
- ・ 被害、経済損失の軽減、機能損傷の迅速な復旧 他

施設の耐震化が
機能保持の一因となる

補修・補強 前



- ・ 部材強度、中性化深度
- ・ 曲げ破壊、せん断破壊 (レベル1、2地震動)
- ・ 施設要求性能 (耐震性能1、2、3)
- ・ 補強の必要性

計画

- ・ 水道施設の重要度の定義付 (重要度ランクA1、A2、B)
- ・ 耐震化の優先順位の設定
- ・ 施設耐震化計画の策定

調査



- ・ 目視調査
- ・ 地質調査
- ・ 部材健全度調査
- ・ 構造条件調査
- ・ 周辺地形調査

診断



補修 補強

- ・ クラックの充填
- ・ 躯体の塗装
- ・ 設備の更新
- ・ 安全設備設置



- ・ 部材補強 (鉄筋Co増打ち 連続繊維補強)
- ・ せん断破壊防止
- ・ 緊急遮断弁設置

補修・補強 後



いつでも安全な水が飲めるサービスの持続を可能とする
強靱な水道施設 (ライフライン) の構築

安全

持続

強靱

